



だいじょうぶ。ともにあるこう。

(2023.2.3)

三鷹市議会議員

野村 のむら ようこ 羊子

といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.156



1月25日臨時議会

◆補正予算(第8号)に反対

★出産・子育て応援ギフトの支給；

1億4801万6千円(全額東京都からの補助金)

国の昨年の補正予算「伴走型・経済的支援事業」を、とうきょうママパパ応援事業を活用して実施。補正予算では、2022年4月以降に出産した人にアンケートを送付。回答した人に10万円分のギフト券を支給する部分の計上。

2023年度は、妊娠届け時の面談で出産応援ギフト5万円相当を支給。希望者に妊娠8ヶ月で面談。出生届時にも面談して子育て応援ギフト5万円相当を支給するという事業を当初予算に計上予定。



ギフトは東京都が開設するサイトにアクセスしてその中から選ぶ方式。これは、東京都が選定した特定の事業者が利益を上げる構造であり、利用者が本当に必要とするものが入手できない可能性

がある。また、5000ポイント単位での設定で、使い勝手が悪い。経済的支援というなら現金給付にすべき。困窮世帯が水光熱費や保険料に使うことも子育て応援になる。2021年末の世論は無視されている。さらに、マイナンバーカードの取得案内が面談時に推奨されていることは大問題。



既に三鷹市は妊娠時の「ゆりかご面接」で子ども商品券1万円の支給。新生児全戸訪問「すこやか面接」で東京都の赤ちゃんファースト事業の10万円分のギフトを支給。さらに1歳の誕生月にアンケートに回答して1万円の子ども商品券を支給する東京都のバースデイサポートも実施。今年度来年度は重複しての支給となる。しかし、2026年度からは子ども家庭庁が発足し、予算は子ども家庭庁に移るため、継続が明示されていない。

国は伴走型相談支援事業と位置づけるが、相談に対応する正規専門職の人的配置の予算が市費負担1/4であり不十分な状況である。

伴走型相談支援事業は必要だが、妊産婦のニーズに対応しきれないギフト券事業なので、反対。

2/2 厚生委員会

◆ヤングケアラー条例共同提案

12月議会で共産党が提案し、いのちが大事が共同提案となっていた。

大城議員(共産党)が説明員として出席し、議案提出の趣旨説明と、委員からの質疑に答弁した。

昨年の教育委員会の調査によって、三鷹市内にも小5～中3の中で500人のヤングケアラーがいることがわかった。一刻も早く支援を具体的に実施したいため条例案の提案。現在ある制度を活用し、各部署が連携して社会全体でヤングケアラーを支援する必要がある。等の説明をした。休憩中の委員間協議により、継続審議となり、採決は3月議会に持ち越しとなった。



1/16市議会安否確認・参集訓練実施。

年に2回、議会での防災訓練として、web171を活用した議員全員の安否確認訓練と、幹事長の参集訓練を実施。



◆11/11議員研修

「市の総合計画と議会の関わり」

代表者会議で野村が提起していたテーマが、議会研修委員会で確定し実現。第5次基本計画・基本構想策定に対しての議会の姿勢が問われる。

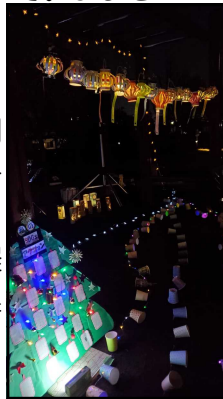
◆1/30 ほのぼのネット30周年記念



式典 亀谷社会福祉協議会会長等の挨拶の後、第2部は素晴らしい歌声のカテリーナさんの演奏。第3部は市川一宏教授の講演。

★11/13 SDGsアクションみたかエコマルシェ2022。エネルギー、気候変動、フェアトレード、リサイクルなど、広く環境問題に取り組んでいる団体が中央通りにお店や展示を広がっていました。

★12/10『イルミネーションRE100』。三鷹中央防災公園で開催。多摩地域を中心として各地で一斉に点灯する再生可能エネルギーのイルミネーション。三鷹ではLED提灯などの明かりの下、さとさとみさんのコンサートもありました。



★11/14 地方X国政策研究会 自治体議員政策情報センター。①「社会福祉協議会の実態と目指すべき姿」平野隆之(日本福祉大学)教授の講義。②「有機農業の推進にむけて」印鑑智也さんの講義等。スタッフとして参加。

★11/23 「ジェンダーとウクライナ難民戦禍における女性たち」全国フェミニスト議員連盟国際フォーラム。オンライン開催。

★12/11 「めんどり歌えば国栄える パート2」全国フェミニスト議員連盟30周年記念イベント。オンライン開催。スタッフとして参加。

★連続企画「どうする？私たちの人権条例」第1回11/26 国立市の経験から学ぶ;講師:吉田徳史さん(国立市 市長室長)。第2回1/22 誰もが差別されないための条例とは;師岡康子さん(弁護士)。2代続く市長の強い思いで条例策定した国立市。条例の軸が大事と感じた。師岡弁護士は、実効性ある条例とは明確な禁止規定と罰則が必要と、具体的な事例等も引きながらのお話。市民、当事者の声をいかに条例に反映させるかが重要だと改めて思う。

◆1/5 アールブリュットMI TAKA2023のオープニング、1/15 同表彰式



に参加。たくさんの方が作品が応募されたという。継続して開催する方向のようだから、もっと多くの作品、絵以外の作品も含め、多様な展示がされると良いと思う。



★11/22 東京外環中央JCT意見交換会

11/23 中央JCTオープンハウス。シールドマシンは現在住宅の真下を掘削中。地上と本線をつなぐ坂道(ランプ)のトンネルを掘るシールドマシン。Hランプは工事ヤード内で掘削終了。Aランプは、1月に東八道路を越え、現在牟礼の住宅地の下を掘進中。意見公開会は市外の人などを排除し閉鎖的。オープンハウスではわかりにくい。まともに説明会をせず、住民無視の進行は問題！

★1/14 東京外環道訴訟 提訴5周年集会 「ジャーナリストが見た外環道・リニア問題」榎田秀樹さん(フリージャーナリスト)。

シールドマシンはあちこちで事故を起こしていると事例を挙げて報告。欠陥技術でこれ以上人権侵害を起こしてはならない。



★1/18「福島原発刑事訴訟高裁判決」。

東電元社長ら3人は無罪という不当判決! 東電の言い訳を引き写すだけの判決文。こんな判決で確定させてはならない。検察役の指定弁護士がすぐに上告。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会news No. 156
〒181-0013東京都三鷹市下連雀3-33-7-401
Tel:090-7254-2652 Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
ゆうちょ銀行:〇一九店(普)0335606

